するのに教室の全員が協力した。やがて第2次大戦となり図書輸入の途が閉されるのであるが，その前に最初に予定したバックナンバーの大部分は入手することができた。発足時の規模は小さかったようであるが，予算的規模は北大，阪大と同程度であった。さらに昭和17年には完全5講座となって，日本で最大規模の数学教室となった。同年に名大理学部も新設され，数学教室はやはり完全5講座として発足することになった。

終戦後東大に戻ってみると，教室の助手は2名，雇員1名で，助手1名だけより少しはよくなったとはいっても，以前の北大にもおよばない実状には全く情けなかった。これから東大数学教室近代化のため予算の増額，人員組織の充実の努力がつづけられた。そのうちに数学の重要性が次第に社会的にも認識されてきたので，講座倍増計画を打出し，最近に至って漸く殆んど完全な9講座から成る数学教室となり，図書室も日本の代表的な教室にふさわしいものとなってきた。

しかし戦後急激に増大した文献は，従来のような網羅主義的な蒐集計画では財政的にも空間的にも破綻を来たすことが明らかとなってきた。また研究の急速な発展は迅速な情報活動を要求する。このようにして図書館の近代化ということが日本でも問題とされるようになってきた。この秋に当り全国共同利用研として京大に付置された数理解析研究所の図書室が数理関係の専門図書館として果すべき役割は重大である。

蒐集計画は全国的視野に立ってなされるべきであり，主要な数学図書室間の緊密な協力を進めるために，相互に情報を提供する組織も必要であり，情報活動に電子計算機をどのように活用するかも今後の課題となる。学術会議の長期研究計画に織り込まれている文献センターの構想とも関連づけて今こそ専門図書室の今後あるべき姿について慎重に検討し，将来計画を確立すべきであろう。

（数理解析研究所所長）

目録カード検索への手引き

附属図書館の目録カード室が移転して，目録が整理統合されたことは，前号でお知らせしたが，この機会に，その構成および検索方法について，簡単に説明しておこう。

I　**全学総合目録**（1階目録カード室）

A　和漢書書名目録

1　昭和39年7月（受入）を境にして大型カード(新)と小型カード(旧)に分れている。

2　書名の五十音順に排列されている。(原則)
ただし小型カード(旧)は次のような特殊な取り扱いをしている。

i　書名の頭の字が1音の漢字である場合は，2音のものおよび仮名よりも前に排列されている。

例　**技**術の歴史　**ギ**ジュツノレキシ
　　菊と刀　**キ**クトカタナ

ii　長音のウ（またはー）はア行に排列しないで「ン」の前に排列されている。

例　コア…コワ…コウ（コー）…コン

iii　頻出する漢字（同音は画数順）または語はブロックを設けてまとめて排列されている。カード箱の見出しをよく見て検索して

下さい。

3　カードの左上欄に記入されている部局（教室）名は，その図書の所在部局を示す。次のような請求記号のみのものは本館所蔵を示す。

4-20
カ15　または　4-20
カ
15

上記の欄が空白のカードは最下段の書名をもう一度検索して下さい。所在部局はそのカードに記入されている。

	地	球は青かった ユーリー・ガガーリン著 筑摩書房　1966 （現代世界ノンフィクション全集22の内）

B　和漢書著者名目録

1　昭和23年4月以降受入の全学和漢書を，著者名のアルファベット順に排列してある。

2　雑誌・新聞などの逐次刊行書や叢書・一般的な語学辞書等の編著者は省かれている。これらの図書については，書名目録または雑誌目録（冊子）を見て下さい。

3　請求記号等については書名目録の項Aの3を参照して下さい。

C　洋書著者名目録

1　昭和39年（1964）7月（受入）を境にして大型カード（新）と小型カード（旧）に分れている。

2　標目のアルファベット順に排列されている。著者名目録（個人および団体著者から記入）であるが，雑誌・辞典・叢書等で書名から記入されているものは，書名で排列されている。

3　部局（教室）名はカードの左上欄に記入されているが，請求記号のみの場合は本館所蔵を示す。

D　雑誌総合目録（冊子）

1　和文編（中国・朝鮮文を含む）昭和41年8月末現在

2　自然科学欧文編　昭和38年12月末現在

3　人文科学欧文編　昭和41年8月末現在

排列は和洋とも誌名のＡＢＣ順

Ⅱ　分類目録（2階閲覧室前）

A　本館和漢書分類目録

本館和漢書分類表による。分類項目ごとに書名の五十音順。

B　本館洋書分類目録

本館洋書分類表による。分類項目ごとに著者名のＡＢＣ順。

C　本館特殊文庫目録

各独自の分類表による。

D　法学部和漢書分類目録

法学部和漢書分類表による。分類項目ごとに書名の五十音順。

E　経済学部和漢書分類目録

経済学部和漢書分類表による。同じく書名の五十音順。

〔付記〕

1　総合目録には本館の書庫内の図書も，開架室，参考室の図書も区別せず，すべて繰り込まれていますが，開架室，参考室の図書は館外貸出ができません。

2　総合目録によって求められた図書が，部局の図書である場合は，利用（閲覧，貸出，複写等）の可否や条件が，各部局（教室）ごとに異なりますから，学内図書相互利用一覧表（雑誌目録の傍に備え付けてある）をみて下さい。